

地域医療連携推進法人はりま姫路総合医療センター整備推進機構  
平成 30 年度地域医療連携推進評議会 議事録

- 1 開催日時 平成 30 年 8 月 1 日(水)13:30-14:30
- 2 場 所 じばさんびる 501
- 3 評議員総数 8 名
- 4 出席評議員数 8 名
- 5 出席評議員 山本 一郎、井上 喜通、大野 幸一、黒川 優  
藤澤 正人、邊見 公雄、守殿 貞夫、石川 誠
- 6 出席理事 木下 芳一(理事長)、八木 聡、向原 伸彦、小田 博則、  
橘 史朗、坂原 康敏

7 議事の経過の要領及び結果

定刻に至り司会者小田は、開会を宣言し、本日の評議会は、全員参加している旨を告げ、議事の審議に入った。

(1) 平成 29 年度事業報告書及び平成 29 年度決算

事務局長は、当期における(自平成 29 年 4 月 1 日 至同 30 年 3 月 31 日)における事業状況を平成 29 年度事業報告書等により説明した。

質疑及び意見はなく承認された。

(2) 平成 30 年度事業計画

事務局長は、来期における(自平成 30 年 4 月 1 日 至同 31 年 3 月 31 日)における事業計画を平成 30 年度事業計画により説明した。

質疑及び意見はなく承認された。

(3) その他(質疑)

(評議員) 新病院の開院までのスケジュールを教えてください。

(理事) 今年度末に、設計完成。来年度から平成 33 年度末を工事期間とし、平成 34 年度上期のオープンを予定している。

(評議員) 医師配置の検討は進んでいるのか。

(理事) 診療科ごとの医師配置の検討については、始まったところである。求められる診療機能を発揮できるよう検討を進めて参りたい。

(評議員) 統合新病院には期待しているが、オープンまで時間の猶予はない。それまでの間、様々な課題を解決していかなければならないが、合併することの利点は何か改めて教えてほしい。

(理事) 現在、この圏域の課題は、3 次を中心にした救急。救急のコールを受けてから、病院への受入を決めるまで、他の圏域に比べて手間がかかっている状況。救急医療も高度化しており、救急の担当医だけでは対応できない案件も増加していることから、救急医と専門医がシームレスに連携できる仕組みに加えて、様々の分野の専門医を多く集める必要もある。救急分野と専門分野の両方を併せ持つ病院をつくるのが目的。

(評議員) 医師確保においては、小さい病院が複数あるよりも、拠点となる大きな病院が整備されることが重要。良い例としては、加古川中央市民病院で、統合前は医師不足に悩んでいたが、統合後は、全国から医師集まる拠点病院になった。

(評議員) 新病院には、地域医療の機能も担っていただきたい。

(理事) ご指摘の視点も取り入れながら検討を進めて参りたい。

(評議員) 進捗に応じ、適宜情報提供をお願いしたい。

(理事) 了解した。

以上をもって、議事を終了し、14:30 閉会した。

以 上